

かりぶ新聞

発行
社会福祉法人
協立いつくしみの会
 札幌市厚別区厚別中央5条6丁目5-20
 TEL(011)896-1165 FAX894-4404
 E-mail:itukusimi@karipu.jp
 2017年1月1日発行
 発行責任者 河原 政勝



新年あけましておめでとうございます



謹んで新春をお祝い申し上げます。

昨年は、熊本・大分、鳥取、福島の震災、北海道と東北の連続の大型台風による風水害と、被災の年でした。私たちも、微力ながら支援活動に加わりました。被害を受けられました多くの皆様に、心よりお見舞い申し上げます。災害は、私たちの暮らしに、再び、何が必要なのか、政治が何を大切にしなければならぬのかを教えてくださいました。私たちは、「安心して住み続けられる、防災と福祉のまちづくり」の運動をみなさまと力を合わせて取り組むとともに、復興にとりくむ現地の方々に寄り添いながら、当法人としても継続的な支援を行いたいと考えています。併せて、北海道民のくらしや安全、地域経済の破壊に直結するTPPや、JR線の廃線、原発再稼働の問題など、国政と道政のあり方も問われました。いま、地域の中では、かつてなく貧困と格差の嵐が吹き荒れています。とりわけ、安倍暴走内閣の下で、高齢者の圧倒的多数は低所得の状態におかれているにもかかわらず、消費税増税の上に年金はカットされ、社会

保障、医療や介護に関わる保険料や自己負担は増えるばかり、給付される内容は削られています。これでは、年を取ったら死ねといわんばかりの政治です。一方、大企業や富裕層に対する優遇税制、軍事費に注ぎ込むお金は聖域で拡大するばかりです。

国民の怒りは、爆発しています。今度の政治戦では、平和憲法を守り、戦争法廃止と立憲主義と民主主義を求める国民の総がかりの行動を広げ、野党共闘をさらに強め、国民のくらしと社会保障を充実させる運動に広げて、勝利することが求められます。

私たちも「無差別・平等」の介護・福祉の実践と運動を通じて、地域福祉にさらに貢献したい、そんな思いを胸に、今年も、職員一同、力を合わせ奮闘する決意を述べ、新年の挨拶いたします。

二〇一七年 元旦
 社会福祉法人協立いつくしみの会

理事長 石山 建治



菅野美都子

これからも、悔いのない毎日を精一杯笑顔で頑張りたいです。



富田 聡

今年是一年男（酉年）という事で大きく羽ばたき、飛躍の年にしたいと思います！

年男・年女 紹介



瀬戸 勝美

本年度は怒涛如く時間が流れた印象でした。「その人らしさ」とは何かを考えながら心掛けてきました。来年度は粉骨砕身の精神で取り組みます。



山本 早織

1つ1つ目標を達成していける年に出来たら良いと思っています。

その他 酉年のみなさん

- | | | |
|-------|--------|-------|
| 岡本 考志 | 杉本 明子 | 浜崎 朋子 |
| 河原 政勝 | 高橋 千尋 | 星野 由佳 |
| 清澤しづか | 田名部みどり | 三谷千谷子 |
| 倉兼 伸二 | 中村 純子 | 谷田部貴世 |

本年もどうぞよろしくお願いたします



社会福祉法人 協立いつくしみの会

理事長 石山 建治

常務理事 河原 政勝

事務 長 下斗米 博

特別養護老人ホームかりぶ・あつべつ

施設 長 田名部みどり

デイサービスセンターかりぶ

所 長 新谷 洋介

訪問看護ステーションかりぶ

所 長 見上真由美

居宅介護支援事業所かりぶ

所 長 大橋 孝史

ショートステイメイプルハウス

所 長 西澤千恵美

デイサービスもみじの家

所 長 仁木 要介

ヘルパーステーションかえで

所 長 北田ひとみ

居宅介護支援事業所メイプルかりぶ

所 長 石戸谷真史

デイサービスのの

所 長 大澤真奈巳

小規模多機能ホームかりぶ

所 長 松田 梨香

高齢者生活支援ハウスえみな

施設 長 下斗米 博

札幌市厚別区介護予防センター厚別中央・青葉

センター長 工藤 隆太

サービス付き高齢者向け住宅ぼろか

管理者 大澤真奈巳

居宅介護支援事業所がらび

あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては日頃より私たち事業所へのご理解とご支援を賜り心よりお礼申し上げます。昨年はスーパージグハウスでの地域相談会や地域での学習会、認知症カフェ等初めての取り組みを行いながら地域の皆様方の協力になれるよう努力してまいりました。さて、今年4月からは



いよ札幌でも新総合事業が開始されます。現在行政は介護保険制度の財源不足を理由に一定の介護度の方を軽度者とみなし

サービスが受けられなくなるような見直しを検討しています。介護の必要な方が当たり前前に介護、支援を受けられることが本来の介護保険制度の姿であると考えます。私たちケアマネージャー集団が現在の介護保険の状況をしつかりお伝えし、皆様方が安心して使える介護保険となるよう皆様の協力も頂きながら声を上げていく、行動していく所存でございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

訪問看護ステーションがらび



訪問看護ステーションがらびは、現在100名近くの利用者さんのお宅に訪問させて頂き健康管理・療養上のアドバイス等、利用者さんが安心して在宅で生活できるように支援させて頂いております。年齢は40歳代から100歳代まで、80・84歳代の利用者さんが多く

100歳の方も元気に在宅生活を送られております。担当看護師が訪問し利用者さんの病状、身体状況や環境など観察し相談・アドバイス等させて頂いておられますが、私たちは利用者さんが安心して暮らすにはどうしたらよいか、日々職員全員で話し合い、学習しながら取り組んでまいりました。昨年は2名の訪問看護師が退職した為、担当看護師の変更となつてしまった利用者さんにはご不便おかけしたところと思いますが、看護師6名、事務職員1名の体制で職員一同頑張つていきたいと思っておりますのでよろしくお願致します。

デイサービスもみじの家

高齡化が進む中、地域間のつながりがより一層

今年1年は、地域の方と多く交流できた年でした。もみじカフェでは地域の参加、今年度から開始した運営推進会議では多くのご家族の参加がありました。新しくボランティアさんが来てくださる方も増え、地域の方々が安心して、職

ショートステイメイプルハウス

あけましておめでとうございます！昨年もショートステイメイプルハウスは家庭的な雰囲気大切に、住み慣れたご自宅を離れても安心して頂ける様、一人一人の生活環境を整え、個別に合わせて支援をしてまいりました。年々、病院から退院後直接のご利用や一人暮らしの方、介護者の方の体調不良に伴い在宅生活を維持する事が困難になり、ショートステイを利用されるケースも増えてきております。ご利用の方々がご家族の方々が安心して、職

員全員心ひとつにして、ケアの向上を目指しております。また、介護保険料や介護サービス利用料の負担が年々多くなりサービスを利用したくても減らさなくてはならないなど困っている方が増えています。本年も引き続き、地域に根差しながら、住み慣れた街で、安心して暮らしてゆける様、介護相談の窓口となり、皆様の力になって参ります。職員一同「医療・



介護制度改悪反対の声を上げながら、ご利用して頂く皆様やご家族の方々が、安心して、満足して、良かった、と思つて頂ける様に努めて参ります。本年も宜しくお願い申し上げます。

の紹介



のつながりを通して、事業所の周りや厚別区にお住まいの方まで目を向け、地域密着型のデイサービスとして介護などで困っている事などを相談でき、安心して住み慣れた地域で暮らせるようサポートできればと考えています。

介護予防センター厚別中央・青葉

介護予防センターは札幌市からの委託により、高齢者の総合相談事業、すこやか倶楽部をはじめとする各種介護予防事業の運営、地域の諸団体への介護予防支援事業など、高齢者がいつまでも地域で安心して住み続けられるよう活動しています。地域の高齢者の貧困化・孤立化がより顕在化するなかで、来年度からの介護予防・日常生活支援総合事業による要支援者の地域支援事業への移行など、公的



責任の排除、自己責任の徹底が図られ、今後ますます必要なサービスが受けられない状態となつていく事が予想されます。介護予防センターは昨年、高齢者が立寄る場所

での気軽な相談場所として2ヶ所の相談会（ビックハウス厚別店、ひばりが丘生協）の定期開催、「集い場」として安楽寺での「やすらぎ健康講座」開設、特養がらび・あつべつでのがらびカフェ（認知症カフェ）開催などを、地域の諸団体との連携・支援・協力のもと進めてまいりました。今年度も、高齢者の皆さんをはじめ地域の老人クラブ・町内会、地域サロンの皆さんと一緒に介護予防に取り組みたいと思っております。今年度もよろしくお願致します。

ヘルパーステーションがらび

ヘルパーステーションがらびでは、昨年5月にヘルパーステーションがらびと合併しました。総勢35名のヘルパーで、235名の利用者様を支援してまいりました。厚別区と近隣の地域に、より関わる事業所を目指してまいりましたが、2017年4月からは、介護保険法の改訂で、要支援の方のサービスが順次介護保険から札幌市の生活支援総合事業へ移行されます。利用者様のサービス利用の変更に伴い、ヘルパーの働き方も変わっていきま



社会的に介護職は人材不足と言われて、当事業所もヘルパー不足ではありますが、利用者様の長年暮らしてきた地域での安心した生活を支えることが出来る事業所を目指してまいります。本年も宜しくお願い致します。

デイサービスセンターかりぶ

今年も利用者様と新年を迎えられますことお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、春は桜、秋は紅葉を探しドライブに出掛け移りゆく季節を楽しみました。また、敬老会では、百寿の方をはじめ、皆で長寿をお祝いし、地域から、かりぶケアーズさんの沖縄三線、どんどこどんさんの腹話術、演歌体操、紙芝居、朗読と多才な芸、ユニコーンさんのコーラスと素敵なおステージに魅了されました。さらに今年は、地域の方がボランティアとして活躍し、特技や時間を活かして利用者様との交流やアコーディオン演奏、異文化交流、笑いヨガと楽しく豊かな時間を提供する役割を担って頂きました。



さて、平成29年度からは札幌市でも介護予防・日常生活支援総合事業が開始され、要支援の方のサービス利用に変化がある年でもあります。利用者様が安心して地域で暮らし続けられるよう、利用者様に寄り添い職員一同努めてまいります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

各事業所

が具体的に推し進められ、ご利用者とご家族、介護事業者に更なる生活への打撃が与えられる流れが顕著になります。加えて軽度者の福祉用具・住宅改修の原則自己負担化、つまり保険対象から外す支援制限範囲を拡張させる考えが進められていく状況にもなります。

平成29年度(来年度)に予定されている診療報酬と介護報酬の同時改定に向けて、昨年の流れに続き今年には要支援認定の方々の(介護予防・日常生活支援総合事業の対象サービスの拡大)デイサービスやヘルパー利用を制度面から抑制する準備

小規模多機能ホームかりぶ

謹んで新年のお慶びを申し上げます。小規模多機能ホームかりぶは、1つの事業所を通い、泊まり、訪問の介護サービスを提供しており、家庭的な雰囲気の中で、利用者さんと体操や脳トレ、塗り絵などに取り組んでいきます。

この写真はイモ団子を作るのに利用者さんに手伝ってもらいながらジャガイモの皮をむいている所です。長く主婦として働いてきただけに、包丁で皮をむいたり芋をつぶ



食べています。自分達で作ったおやつは食も進むようで「おいしいね」「昔はこの家も作ったよ」と会話も弾み美味しく頂いています。自宅で1人ではできないことも職員と一緒にやることで、できることがあると改めて実感しました。今後、利用者さん1人ひとりのできる能力を維持できたらと思っております。

デイサービスののり

昨年、春のお花見ドライブに外出し、外でのおやつタイムを楽しんだり、夏には希望される方のみ西友に買い物へ、外食行事には回転寿司に2回行くことができました。日常のデイサービスでの生活も、これまでの生活の中で取り入れてきました。利用者さん同士で支え合い協力しあう場面が沢山見



さて、今年4月からは、要支援の方を対象とする札幌市の「介護予防・日常生活総合支援事業」が開始となり、現在、要支援の方は認定更新時から順次この総合事業に移行し

財務省や厚生労働省としては、財政難を国全体の税の在り方を見直さずには、皆さんの生活や私たちが現場の生活で一番必要な社会保障費のみを指摘し、決まった財源で介護サービス抑制や負担増などで財源を捻出する考えのようです。今年は昨年以上に声を形にして届かせねばならない状況でもありますが、そのためには地域の皆さんや共同組織の皆さんと共に学び考え、介護保険や生活相談の窓口の役割がある「かりぶのケアマネジャー事業所(もみじ台を拠点)」として安心して生活できる地域づくりを考え実践していこうと思っております。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

昨年、春のお花見ドライブに外出し、外でのおやつタイムを楽しんだり、夏には希望される方のみ西友に買い物へ、外食行事には回転寿司に2回行くことができました。日常のデイサービスでの生活も、これまでの生活の中で取り入れてきました。利用者さん同士で支え合い協力しあう場面が沢山見



9月『えみな喫茶』メニュー。東商業高校の実習生と作りました。お稲荷が人の顔になっていて、「かわいい、食べるとおいしい」との歓声があがりました。

られていきます。寒くなり外出の機会が少なくなり、レクリエーションやいろんなゲームを通して頭、体をつかい、大きな声で笑い、この1年皆様と楽しく元気に過ごしていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお祈り致します。



特別養護老人ホームかりぶあつべつ

平成27年4月以降特別養護老人ホーム入居基準が変更となり、基本的に要介護3以上でなければ入居出来なくなりました。今後入居者さんの状態が多様に変化していく事が予想される中で、入居者さん・利用者さんが安心して生活していくにはどうしたら良いか、職員は認知症ケアや疾病等

家族とも家族会を中心にかりぶ祭のバザー販売や年2回の大掃除、介護保険制度の改正やマイナンバー制度についての学習会を重ねて皆さんとの交流を深める事が出来ました。また、ボランティアの方のお力をお借りしながら、書道や歌会、喫茶等で地域の方との交流もしております。

本年度も入居者さんに安心して楽しい時を過ごしてもらえように、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

今年も職員一同、ケアの質向上に努めますので、よろしくお願い致します。

今年も職員一同、ケアの質向上に努めますので、よろしくお願い致します。

今年も職員一同、ケアの質向上に努めますので、よろしくお願い致します。

「介護お気軽相談会」

介護保険をはじめ相次ぐ社会保障制度の改善が進められる中、支援や情報もないまま地域で孤立し生活している高齢者や地域住民に、必要な支援や情報提供を進めるため、かりぶあつべつでは2016年5月より、毎月15日午前10時〜12時にビックハウス厚別店（厚別区厚別中央2条2丁目2-6）にて、「介護お気軽相談会」を厚別区生活と健康を守る会と合同で定期開催しています。相談内容は、介



護や介護予防、医療や認知症、地域での生活に関することまでの様々です。毎月開催していますので、お気軽にお立ち寄りください。

相談会の開催

生協ひばりが丘店

「ちよこつとよろず相談会」

生協、厚別南・中央地区社会福祉協議会、厚別南・中央地区民生委員児童委員連絡協議会、厚別第2包括支援センター、区役所、介護予防センター大谷地、介護予防センター厚別中央・青葉、の関係機関が協力し、地下鉄ひばりが丘駅出入口のすぐ近くにある生協ひばりが丘店にて8月より「ひばりが丘ちよこつとよろず相談会」を毎月第3木曜日に店舗内で開催しています。身近で良



利用されるスーパーマーケットに相談窓口を設置し、身近な地域で相談できる機会を提供しています。

認知症 カフェ



協立いつくしみの会では、厚別中央・もみじ台・上野幌の3つの拠点でそれぞれのカフェが定期的に開催されています。厚別中央の「かりぶカフェ」では参加者の皆さんに楽しんでいただながらお役



協立いつくしみの会での「認知症カフェ」

もみじ台ではデイサービスの場所を活用した「もみじカフェ」が日曜日に開催されています。ケアセンターかりぶ・上野幌では新日本婦人の会の協力のもと「ぼろかカフェ」が定期で開催されています。

にたてるような様々な企画を行っており多くの方が参加されています。就労支援事業所「スペース希望」の協力により販売されるケーキや飲み物も好評です。

認知症 カフェとは



ご自由に参加できます。お気軽にお立ち寄りください。（日程は各センターへお問い合わせください）

認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉などの専門家などが気軽に集い、情報交換や相談の改善を目的とした活動や交流などのできる場所。高齢者施設や病院などで運営される数百年の利用料や茶菓代を支払うだけで利用できるカフェのことで、厚生労働省がオレシプランによって進めている施策の一つです。

こらむ

朱の輪

=第1回=

こらむ「朱の輪」の第1回目です。「朱の輪」という呼び名は、このかりぶ新聞が発行される以前の法人の広報誌の名称です。同時に、認知症対応型デイサービスにも

ついてきた名称でした。さて、この「朱の輪」とはどこからきた呼び名なのでしょうかと、質問したところ、答えられる職員は、すでに「アイヌの朱の輪」からきているのですよね」という職員はいましたが、「朱の輪」って何をした人なの」と聞いても、誰も

「か」で、この「朱の輪」もアイヌの言葉です。「輪」を意味します。「えみな」も「あなた」が「笑う」。「微笑」を意味します。「どうして、うちの法人の事業所には、アイヌの言葉が多く使われているでしょう」という問いにも、答えられる職員は、すでにいません。これは、いかんということ、この「朱の輪」

をコラムとして引き継ぎながら、「かりぶの宣言」にある「設立への思いを受け止めて」、このコラム「朱の輪」を通じて、いっしょに学んでいこうと思えます。

（常務理事 河原政勝）



寄附者一覧

2016年9月1日～2016年11月28日

寄附金

- 石田志津子
- 佐藤 敬宏
- 砂金 秀充
- 光部 啓一・武子
- 数寄 佳子
- 物品
- 中村 富美
- 広瀬 幸子
- 伊藤 洋子
- 木谷 裕

（敬称略）

いつでも、どこでも、誰もが、安心して暮らし続けられるまちづくりを一緒にすすめましょう。

社会福祉法人 協立いつくしみの会
理事長 石山 建治

●特別養護老人ホーム かりぶ・あつべつ

〒004-0055 厚別区厚別中央5条6丁目5-20
☎011-896-1165

（併設事業所）

- 指定居宅介護支援事業所かりぶ
- 短期入所生活介護かりぶ・あつべつ
- デイサービスセンターかりぶ
- 訪問看護ステーションかりぶ
- 高齢者支援ハウス えみな
- 札幌市厚別区介護予防センター厚別中央・青葉
- ☎011-896-1475

●ケアセンター かりぶ・もみじ台

〒004-0013 厚別区もみじ台西3丁目1-8
指定居宅介護支援事業所メイプルかりぶ ☎011-899-7722
ショートステイメイプルハウス
デイサービスもみじの家（認知症対応型）
ヘルパーステーションかえで ☎011-899-2525
〒004-0013 厚別区もみじ台西6丁目1-4もみじ台内科2F

●ケアセンター かりぶ・上野幌

〒004-0031 厚別区上野幌1条2丁目2-30
サービス付高齢者向け住宅ぼろか ☎011-890-8787
小規模多機能ホームかりぶ
デイサービスのの

E-mail : itokusimi@karipu.jp

かりぶ・あつべつ 検索